

◎前日まで

- もう一度、集合時間などを確認しておきます。
- 受験票に持ち物や注意が書いてある場合が多いです。また、“受験上の注意”などのプリントをもらってきている人もいます。わかっていることでも、一通り目を通しておきましょう。
- 持ち物と服装を点検しておきます。
- 次の日に備えて、早めに寝ます。すぐに寝つけなくても、静かに横になって目を閉じているだけでもよいのです。

のために、
前日早く寝る!!

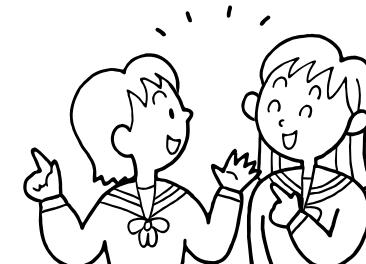


◎受験当日

- 朝は早めに起きます。脳も全力が出せるようになるには、3時間くらいはかかります。
- 朝食は軽くても必ずとり、トイレも済ませましょう。
- 持ち物をもう一度点検します。
- 集合時間の30分前には高校に着けるように家を出ます。通勤の時間帯と重なって、交通機関がかなり込むこともあります。また10日は平日、11日は祝日のダイヤになるので、電車などの時刻を間違えないように気をつけましょう。
- 途中で何かあっても冷静に判断して行動しましょう。とにかく遅れずに高等学校へ行くことが大切です。どうしても困ったら、玉津中(06-6971-4438)に電話をしましょう。
- 万が一、発熱など体調が悪ければ、必ず玉津中に電話しましょう。早急に高校に連絡を取ります。考えられるのは①当日、別室受験②後日、追試験(診断書の提出が必要な学校があります。)

◎受験校では

- 高等学校に着いたら、まず掲示物に注意します。(注意事項、受験会場について、予定などが書いてあることがあります。)連絡の見落とし、放送の聞きもらしのないように気をつけましょう。
- 次にトイレの場所を確認しておいて、早めに行っておきます。(なにしろ、大勢が受験します。「後で」と思っていたら混んでいて、結局1時間がまんするはめに…よくあることです。)
- いろいろな人が受けに来ています。トラブルにならないよう、注意しましょう。
- 自分でも知らない内に気が高ぶって、いつも以上にはしゃいでしまったり大声をあげてしまったりしてしまうことがあります。休み時間などの過ごし方も気をつけましょう。
- 校舎内は関係のない場所をうろうろしてはいけません。
- 体調が悪くななど、困ったことがあれば高等学校の先生に申し出ましょう。



◎テストに臨んで

- 監督の先生の指示をよく聞くこと。
- 「始め」の合図の前に筆記用具をいじっていたり、近くの席の人としゃべったり、目を見合せたりしているのは、不審な行為です。
- 何気なくしてしまいがちですが、寒いからといってポケットの中に手を入れてカイロをにぎりしているのも、不審な行為です。
- 決められたもの以外は、机の上に出してはいけません。
- 用紙を配られたら枚数などを確認し、最初に受験番号、名前をきちんと書きます。

◎答案は

- “読んでもらえる答案”を意識して丁寧に書きます。採点する先生たちは君たちのことを全く知りません。「この子はこういうつもりで書いたのだろう」という推測をするわけにもいきません。下の項目は、一部の例です。“読んでもらおう”という気持ちで丁寧に書きましょう。

- ×乱雑な字、なぐり書き、マンガ字(極端なときは読めません)は絶対にダメ。
- ×消しゴムで消したつもりがきちんと消えていなくて、その上に重ねて書いた。
- ×一ヶ所を消したつもりが、まわりも少し消えてしまっていた。
- ×はっきりしない、あるいはくせ字で他の字にも見える。特に記号など(アとカ、シとツ、クとワ、チとテ、ケとク、1と7など)
- ×答えが解答欄から大きくはみ出している、あるいは極端に小さな字、薄い字など読みにくいですね。

- 誰でもミスはしてしまうものです。最後の一秒まであきらめず、何度も見直しをしましょう。

テスト中に寝るのは、「やる気がない」と言っているようなものです。

よくあるミス

- !記号で答えるのに、言葉で書いてしまった。
!「2つ答えよ。」とあったのに1つしか書かなかった。 } (他、問題の指示の読み落とし。)
- !漢字の書き間違いをしてしまった。(大閻検地、太西洋、松尾芭蕉などなど…。)
- !解答欄を間違えてしまった。 → 正しい答、わかりますよね。念のため、正解は裏に…
- !英語でピリオドやクエスチョンマーク(=?)などを書き忘れた、月や曜日の名前の最初の文字を小文字で書いてしまった。
今まで何回もテストを受けて、『ああ、しまった!』という経験をしましたね。あつたことを思い出して、同じ失敗をしないように、いろいろな角度から見直しましょう。

×××思いかけないことは起こるもの++

[×(ペケ)を+(プラス)に変えるのは、ちょっとした気の持ちよう]

- 友達と受験番号が続いているからきっと一緒にと思っていたら、私の番号から隣の教室に…。えーっ、こんなのがあり？！
- と、あわても仕方がないから、「かえって一人のほうが落ち着いて受けられるに違いない。」と心の持ち方を軌道修正して、マイナスをプラスにかえて試験に臨んだ。
- 休み時間、隣の席の子達が「今の、できた？」「あ、それ〇〇やろ」と答えあわせをして盛り上がっている。だんだん不安になってきた。
- 終わったテストのことで時間を無駄に過ごすよりは…と、次のテスト教科の重要語句確認に気持ちを集中させて取り組んだ。次第に前の時間のことが気にならなくなり、落ち着いて取り組めた。

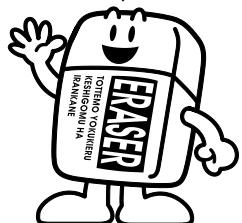
◎試験の後◎

- 11日の集合時間を10日に知らされる人もいます。メモを取るなど間違いないように確認しておきましょう。
- 郵便で結果が届く学校がほとんどです。落ち着かない気持ちはわかるけれど、ここはぐっとがまんして授業などもきちんと受け、平常心で生活しましょう。“これから”的な時間が長いのです。
- 掲示発表・合格証交付の学校を受験した人は、いつ頃行くのかを担任の先生と相談しておきましょう。
- 結果がでたら、すぐに担任の先生に報告(とりあえず電話でもOK)をしましょう。
- 合否の結果だけでなく、他の連絡・注意もよく読んで、必要な手続きをとることを忘れてはいけません。手続きが終わって、初めて入学できるのです。
- 受験票は手続きが全部終わるまで、大切に保管しておきます。勝手に捨ててはいけません。

正しい
答えは
…
太陽検地
大洋
松尾芭蕉

できる問題を先にやって、難しい問題は後にやろう。なあに、君にできなかつた問題は他の人にとっても難しいのだ。

オイラは転がりやすいのさつ。
当日は2個持つておくと安心だぞ。



→→ 確認しよう →→

確認できたら〇を書こう

持ち物	前の夜 チェック	当日の朝 チェック
受験票(注意をよく読んでおく)		
要項・受験の注意等のプリント(もう一度読んでおこう)		
筆記用具(鉛筆5~6本またはシャープペンシル(最低2本))		
鉛筆削り		
消しゴム(2個)		
定規・コンパスなど		
腕時計(音が鳴らないようにしておこう。計算機能付は禁止)		
生徒手帳		
体育館シューズ(上靴として)		
下足袋		
ハンカチ・ティッシュ(多めに)		
弁当・水筒(外食や買い出ることはできません)		
電話代		
交通費(何があるかわからないので、少し余分に)		
雨具		
薬(風邪・喘息・頭痛・乗り物酔いなど必要に応じて)		
服装(ボタンなど)・頭髪・爪などはOK?		
防寒着(解答に影響がないもの 文字や地図などがないもの)		
健康状態確認表		
マスクの予備		

- 上記には学校によっては必要ないものもありますし、また、ここには載っていない物(上の一覧表に書き込んでおきましょう)が別に必要な学校もあります。
- 要項や受験票をよく読んで、忘れ物なく万全の態勢で受けられるようにしましょう。
- 携帯電話(はっきりと禁止されている学校がほとんど。中には「携帯が鳴ったら不合格」というところもあります。不要なものは持つていってはいけません。